

よしなりんぽかん 吉名隣保館だより

吉名隣保館
竹原市吉名町2728
☎28-0929

< 2020年9月7日 発行 >

戦争や

差別をなくし

平和な世界へ

〈2019人権標語入選作品

中学校2年生〉

今年は、戦後・被爆75年です。

もうひとつの広島—大久野島の歴史について考えよう。(NO.1)

戦争は、多くの人の命が犠牲となる最大の人権侵害です。その戦争には、被害と加害の両面があり、歴史から戦争の残酷さと愚かさを学ぶためには、被害・加害の両面から学ぶことが大切です。ヒロシマの被爆は被害の歴史。皆さんもよく知っている大久野島は、加害の歴史をもつ島です。戦後75年にあたり、大久野島の加害の歴史をふりかえってみましょう。

【大久野島の歴史・3度の戦争に翻弄された島】

- ① 1902年芸予要塞が建設されました。これは軍都広島と軍港呉の防衛のためでした。この頃、外国の艦隊が瀬戸内海に侵入してきたら撃沈するために瀬戸内海の岬や島に砲台が設置されました。日露戦争時に瀬戸内海に外国の艦隊は侵入することはありませんでしたが、大久野島と小島に設置されていた28cm榴弾砲4門が朝鮮半島に運ばれ、旅順攻撃に使用されました。大久野島は、この頃から戦争加担の役割を担っていたのです。砲台が設置されていた場所は今も遺跡として残されています。
- ② 1927年に毒ガス工場の建設が始まり、1929年から1944年までの15年間、毒ガス製造工場で毒ガスを約6,616t製造しました。製造された毒ガスは、イペリット・ルイサイト・くしゃみ性ガス・青酸ガス・催涙ガスで、当時国際条約で使用が禁止されていたにも関わらず、第二次世界大戦中、中国で多く使用しています。戦後の調査で日本は、中国で2千回以上毒ガスを使用し、8万人以上の中国の人々を殺傷したことが明らかとなっています。

※参考文献 「記録にない島」・毒ガス島歴史研究所会報

「おおくのしま平和学習ガイドブック」・大久野島から平和と環境を考える会編

※私たちは広島に住む人として、戦争の被害の歴史ヒロシマ、加害の歴史大久野島を決して忘れてはいけないと思います。大久野島は、現在ウサギの島として観光客の人気スポットとなっていますが、平和について考える貴重な歴史的遺産の島であることを後世にしっかりと伝えていきましょう。10月号では、戦争に翻弄された3度目について、毒ガスによる被害の実態について掲載を予定しております。

第244回 川柳教室優秀作品 【8月】

居眠りのあいだに負けているカープ 和

黒い雨 信念とおして 勝利する 弘花

先祖から 遺伝子受けた 髪を梳く 流雲

アサガオの 緑のカーテン いやされる 明

雑草が 私の尻を たたくのよ 敏慧

水やりを 空に任せて 楽をする 光

おめでとう ございます

グラウンドゴルフ教室
8月20日の結果
【むなこしブランド】

第1位 西浜勝之進さん

第2位 大木 秀夫さん

第3位 保手浜君夫さん



戦後・被爆75年にあたり、波多香代子さん製作の切り絵「慰霊碑・原爆ドーム」を玄関ロビーに展示しています。来館してご覧ください。

9月の行事・教室の予定

☆パソコン教室	9月（毎週火曜日）	午後 7時30分～
☆はんこクラブ	9月（毎週金曜日）	午後 1時30分～
☆川柳教室	9月 2日（水）	午前10時00分～
☆着付け教室	9月 14日・28日（月）	午後 1時00分～
☆グラウンドゴルフ教室	9月 17日（木）むなこしブランド	午前 8時30分～